



H&T プレスリリース

2007年11月版

「みえ新産業創造2号ファンド」および「投資事業組合オリックス11号」より 計10,050万円の投資受け入れ

株式会社エイチ・アンド・ティーは、2007年10月12日付で「みえ新産業創造2号ファンド」（正式名称「みえ新産業創造第2号投資事業有限責任組合」2006年12月7日設立）の業務を執行しているフューチャーベンチャーキャピタル株式会社より4,050万円を、また、「投資事業組合オリックス11号」の業務を執行しているオリックス・キャピタル株式会社より6,000万円をそれぞれ第三者割り当て増資として受け入れました。

このたびの増資により、当社の資本金は14,490万円（資本準備金：8,790万円）となりました。この投資資金は当社事業である、医薬品等安全性試験支援システムの開発に当てられます。

エイチ・アンド・ティーは1998年の設立以来、医薬品等安全性試験支援システム『TOXランチャー』を開発しています。このシステムは、新薬開発の動物実験段階でのデータ収集及び集計業務を、GLP（動物実験実施基準）やFDA 21 CFR Part11（米国食品医薬品局が制定した電子記録・電子署名規則）に準拠しながら、飛躍的なコスト削減と省力化を実現するパッケージシステムです。多彩なメニューの中からユーザ自身が必要なモジュールのみを選択し導入できる「セレクトラブル方式」やシステムの運用中バリデーションを自動化した「オートバリデーション」など、画期的な機能を多々備えながら、フレキシブルな運用が可能です。

全パッケージシリーズの5分の3となる『病理サブシステム』・『重量サブシステム』・『臨床検査サブシステム』は既に完成しており、導入している製薬会社等からは高い評価を得ています。今回の投資資金により、残る『一般症状サブシステム』と『生殖性サブシステム』の開発を一層加速し、『TOXランチャー』の全シリーズの早期完成を目指します。

以上